

チームオレンジはんのう

【基本情報】

市町村名	飯能市	人口	78,338.0万人
担当部署	福祉部介護福祉課		
担当部署	042-973-3753	shien@city.hanno.lg.jp	

【目的・コンセプト】

連絡会を開催し、チームオレンジメンバーの活動報告や、市や包括支援センターで開催する事業についての周知を行う。

【活動内容】

活動日時・活動頻度	チームオレンジ連絡会は2か月に1回。第2金曜日の10時～11時30分
(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	

【活動場所】

--

【設立の経緯・プロセス】

認知症になっても、住み慣れた地域で暮らしていけることができるよう、認知症を理解し見守ることが出来る応援者として「認知症サポーター」を養成している。また認知症サポーターステップアップ講座等を受講し、飯能市において認知症の人やその家族を支援する活動意思のある者を「チームオレンジはんのう」メンバーに認定した。

【本人・家族の関わりの状況】

チームオレンジはんのう連絡会を昨年度より開始。
活動している内容を共有し、次に生かせるよう、勉強会を交えている。
チームオレンジメンバーが参加しやすいよう、活動内容を通信を作成し、発行している。

【今後の展望・課題】

(1)	現在は市が主体で活動しているが、ゆくゆくはチームオレンジメンバーが主体で活動出来るようにしたい
(2)	
(3)	

チームオレンジさやま

【基本情報】

市町村名	狭山市	人口	14.8万人
担当部署	健康推進部介護保険課		
担当部署	04-2953-1111	kaigo@city.sayama.saitama.jp	

【目的・コンセプト】

地域の認知症の方とご家族が安心して暮らしていけるよう、地域の認知症に対する理解を進め、「認知症になっても安心して暮らせるまち」を目指し、さまざまな活動に取り組んでいく。

【活動内容】

活動日時・活動頻度	隔月1回10時～11時30分
(1)	市の認知症施策について話し合う
(2)	認知症に関する正しい理解を地域に普及するためにできることを話し合う
(3)	オレンジカフェの運営支援
(4)	認知症サポーター養成講座、ステップアップ講座の運営支援
(5)	

【活動場所】

【狭山元気プラザ】（西武新宿線狭山市駅東口から西武バス「井戸窪経由狭山台団地行き」に乗車。「狭山台一丁目バス停」下車、徒歩2分）
〒350-1304 埼玉県狭山市狭山台1-21

【設立の経緯・プロセス】

市が推進する認知症施策の支援者として従前から活動していた「狭山市認知症事業サポーター」を中心に、「チームオレンジさやま」を新たに設立した。

【本人・家族の関わりの状況】

介護サービスの利用に繋がらず、閉じこもりがちであった認知症ご本人の家族からの相談をきっかけに、趣味が写生であることがわかった。これを受けて、認知症サポーター養成講座で実施した寸劇の場面を写真に撮り、写生していただき、養成講座で紙芝居として活用した。運営においては認知症ご本人や家族とチームオレンジメンバーの双方向のつながりを大切にしている。

【今後の展望・課題】

(1)	本人や家族を巻き込めるようにチームの在り方を考えていく
(2)	チームとして居場所づくり等、地域でできることを具体化していく
(3)	

チームオレンジいるま

【基本情報】

市 町 村 名	入間市	人 口	14.1万人
担 当 部 署	福祉部高齢者支援課		
担 当 部 署	04-2964-1111	ir314000@city.iruma.lg.jp	

【目的・コンセプト】

認知症になっても認知症当事者（以下本人）の声を基に本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で安心・安全に暮らし続けることができる地域づくりを通じて、「認知症といきるまち」を実現することを目的としている。

【活動内容】

活動日時・活動頻度	毎月第3火曜日に定例会を開催。原則毎月第一火曜日に市内商業施設でのオレンジカフェを開催。
(1) 定例会	
(2) 市内商業施設でのオレンジカフェ企画・運営	
(3) オレンジガーデニングプロジェクトの実施、認知症月間の庁舎内展示における展示物企画・装飾、認知症普及啓発活動（ラジオ出演等）	
(4) 認知症関連イベント等への協力（声かけ運動、包括主催のオレンジカフェ、認知症サポーター養成講座、その他包括主催のイベント等）、地域ケア会議への出席、ステップアップ研修	
(5) 当事者メンバーへの電話かけ、オレンジカフェの移動支援等	

【活動場所】

入間市市民活動センター（イルミン）、イオンスタイル入間等市内各地

【設立の経緯・プロセス】

ステップアップ研修を経て、令和3年6月に設立。3つの班（①居場所づくり班、②研修・勉強会・個別支援班、③普及啓発班）に分かれ、それぞれの班で活動内容を相談しながら取り組んでいる。令和6年4月より自主運営開始。

【本人・家族の関わり状況】

支援する人・支援される人という垣根を越えて、仲間として協力し、支え合うことを大切にしている。

【今後の展望・課題】

(1) チームオレンジいるま自主化に伴う運営
(2) 市内高等学校生徒との認知症普及啓発コラボ動画作成
(3) オレンジカフェ、オレンジガーデニングプロジェクトの充実

いるま市声かけ運動推進会

【基本情報】

市町村名	入間市	人口	14.1万人
担当部署	福祉部高齢者支援課		
担当部署	04-2964-1111	ir314000@city.iruma.lg.jp	

【目的・コンセプト】

声かけ運動を推進することにより、認知症の方とその家族が住み慣れた地域で安心して暮らすことが出来るまちづくりに寄与することを目的とする。

【活動内容】

活動日時・活動頻度	市内各地区で声かけ運動を実施
(1)	声かけ運動の推進と実施
(2)	普及啓発活動（パンフレット・のぼり旗・トートバッグの作成と配布等）
(3)	オレンジガーデニングプロジェクトの実施等
(4)	
(5)	

【活動場所】

--

【設立の経緯・プロセス】

平成26年度に市民団体と市の協働事業で初めて徘徊模擬訓練（※現在の「声かけ運動」）を実施。以降、毎年各地域で声かけ運動を開催。当団体の活動は、地域の社会資源を活かしたインフォーマルな支え合いの仕組みづくりを行う一つの手段であることから、令和6年4月にチームオレンジとしての認定に至った。

【本人・家族の関わりの状況】

開催地区の中学生や近隣助け合い活動推進会等と協力して声かけ運動を開催し、声かけ運動を通じて地域の住民が顔見知りになれるような運動になることを大切にしている。

【今後の展望・課題】

(1)	全地区での声かけ運動の開催
(2)	企業とのコラボ
(3)	中学校での声かけ運動の開催および拡大

日高市チームオレンジ

【基本情報】

市町村名	日高市	人口	5.4万人
担当部署	健康推進部長寿いきがい課		
担当部署	042-989-2111	chouju@city.hidaka.lg.jp	

【目的・コンセプト】

日高市では、メンバーが普段活動をしている場（ボランティア活動やサークル活動など）で、チームオレンジのメンバーとして活動をしています。市内のそれぞれの活動の中で、認知症の本人や家族のニーズを拾い、一緒に活動をしていきます。

【活動内容】

活動日時・活動頻度	具体的に日時が決まっていない活動もある
(1)	各メンバーが行っているボランティアやサークルの中で認知症の人やその家族の話を聞きながら、一緒に活動をしている
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	

【活動場所】

【設立の経緯・プロセス】

令和4年度のステップアップ講座を受講した人の中で、活動に興味があるとアンケートに回答した人と現在認知症カフェで活動をしている人を対象に令和5年度、チームオレンジになるためのステップアップ講座を開催。講座を受講した人全員をチームオレンジのメンバーとして設立した。

【本人・家族の関わりの状況】

チームオレンジのメンバーには、認知症の家族の人もおり、定例で行っている話し合いにも参加をして意見を貰っている。また、認知症カフェを実施しているメンバーは、認知症の人や家族の話を聞きながら、活動を行っている。

【今後の展望・課題】

(1)	メンバーの中で、具体的に活動が出来ている人とそうでない人との差ができてきており、活動出来ない人の士気が下がっており、今後の活動の場の設定等検討が必要。
(2)	
(3)	